

デジタルシティズンシップ教育とは・・・

デジタル市民とは、デジタル技術の効果的に使用して他者とコミュニケーションを取り、社会に参加し、デジタルコンテンツを作成および消費するための知識とスキルを持っている人を指します。デジタルシティズンシップとは、**デジタルテクノロジーへの自信と積極的な関与**です。デジタルシティズンシップについて学生を教育することにより、学生は次の概念について理解を深める機会が得られます。①デジタルおよび情報リテラシー ②インターネットの**安全性** ③**プライバシーとセキュリティ** ④**ネットいじめ、人間関係、エチケット、コミュニケーション** ⑤クリエイティブな**クレジットと著作権** ⑥**デジタルフットプリント** (デジタルテクノロジー HP より)

Digital Citizenship教育 授業の基本の流れ

0. レディネスチェック

1. 「感情」を確認する

2. 原因を「特定」する

3. 対応を「検討」する (メリット・デメリットをもとに議論する)

4. 行動を「決定」する

common sense education		
「メディア選択」の授業	「デジタルフレンドシップ」の授業	「あなたは誰ですか」の授業
<p>あなたの完璧な日が与えられると想像してください。あなたは完璧な日に何かを変えますか？</p> <p>①読みなさい。 ②このメディア選択について、どのように感じますか。</p>	<p>オンラインで誰かとチャットしたことはありますか？誰とチャットしますか？どのくらいの頻度で？</p> <p>①2つのシナリオを読みなさい。 ②シータの気持ちは、それぞれどのように変わりますか？</p>	<p>「finsta」という用語を聞いたことがありますか？どういう意味ですか？</p> <p>3つの事例を読みなさい。</p>
<p>あなたが、そのメディア選択について、なぜそのように影響を与えていると思いますか。(クラスの生徒同士で、その理由を共有させる)</p> <p>①トラックを使用し、過去1週間に視聴及び使用したメディアを一覧表示する。 <映像を見せる> ②一部のメディアの選択肢は、他のメディアよりもどのように健全または不健全か？</p>	<p>シータの気持ちがそのように変化すると考えた理由を、パートナーと共有しましょう。</p> <p>①シーターにとってこれらの関係の利点とリスクにはどのようなものがありますか？(ベン図に書いて考える) ②「個人情報には知らない人と共有してはならない」ことを教える。</p>	<p>偽のソーシャルメディアアカウントの事例について、なぜそうなったのかの理由と結果について、共有しなさい。</p> <p>偽のソーシャルメディアアカウントを作成して使用する価値はありますか。(討論させる)</p>
<p>①どのメディアを、いつ、どれぐらい接続するように促しますか？(メディアバランスへのフレームワーク)</p>	<p>オンラインのみの友人が個人情報など、あなたに答えるのが難しい質問をした場合、あなたが答えることができるいくつかの方法は何ですか？何と言えますか？</p>	<p>あなたは、「フィンスタ」を使いますか。それとも使いませんか。その理由について書きなさい。</p>

※Common sense educationのカリキュラムは、HP上にスライド、ワークシート、動画、そして指導案がすべて無料で公開されている。

カリキュラム

- Lesson Slides
- Videos
- Customizable Resources
- Bilingual Materials (ESP, ENG)

スライド + ワークシート + 動画 + 授業案

ISTE 国際テクノロジー協会

- <生徒(学習者)がすべきこと>
- ①情報技術に関連する人間的、文化的、社会的な問題を理解して、**法的、倫理的にふるまう**こと。
 - ②情報や情報技術についての**安全で合法的で責任を持った利用法を理解**して、実践すること。
 - ③共同や学習、効率的な制作の向上を手助けする**情報技術の利用に対し肯定的な態度を取る**こと。

- <教師(授業者)がすべきこと>
- ①進化化するデジタルな文化のローカルおよびグローバルな社会問題と責任を認識し、実践の中で法的、倫理的にふるまうこと。
 - ②著作権と知的財産の尊重、情報源の確かな情報と情報技術の安全で合法的、倫理的な使用を推奨し、模範となって教える。
 - ③適切なデジタル・ツールとリソースへの公平なアクセス環境を用意し、学習者中心の教育方法によってすべての学習者の多様なニーズに対応する。
 - ④情報技術と情報を利用する際の作法と責任あるコミュニケーションを促し、模範となる。
 - ⑤デジタル時代のコミュニケーションやコラボレーション・ツールを用いてさまざまな人や文化に触れる現代の生徒たちを積極的に理解し、グローバルな視点を持ち、模範となる。
(国際テクノロジー協会 HP より)

ISTE デジタル市民権の5つの中核的資質

資質	手順
落ち着いて内省する	今の感情に注意を払う 第一印象を乗り越える 状況が複雑化する可能性を認識する 自分の習慣を定期的に検討する 不安、不快、悲しい、心配な気分注意到意する
見通しを探究する	好奇心を持つ 他者の視点について考える 他者の視点に気を配る 自分のモラル・倫理・市民としての責任、様々な人々の価値や優先順位を考える
事実と根拠を採す	関連する事実を調査し明らかにする 複数の信頼できる情報源から情報を採して評価する 様々な情報源から根拠を確かめる
可能な行動方針を想定する	可能な行動方針を想定する 様々な選択肢が自分の考えと目標をどう反映しているか検討する 自分と他者への責任に留意する 考えられる影響を評価する
行動を起こす	積極的かつ生産的だと感じる行動方針を決定する 幸福をサポートするためにデジタル利用の週間を変更する 必要ときに助けを求める 他者の味方であり支持者になる